

1月号

「自己調整学習」とはどのような学びか？ Vol. 2

<質問コーナーの用語解説>

「学びに向かう力、人間性等」とは

主体的に学習に取り組む態度も含めた学びに向かう力や、自己の感情や行動を抑制する力、よりよい生活や人間関係を主体的に形成する態度等で、自分の思考や行動を客観的に把握し認識する、いわゆる「メタ認知」にかかわる力を含む。また、多様性を尊重する態度や互いのよさを生かして協働する力、持続可能な社会づくりに向けた態度、リーダーシップやチームワーク、感性、優しさや思いやりなどの人間性等に関するものも幅広く含む。

「エージェンシー」とは

OECD(経済協力開発機構)は、よりよい社会を実現するために求められる学びの枠組みとして、「The OECD Learning Compass 2030」を策定。「自ら考え、主体的に行動して、責任をもって社会変革を実現していく力」を、子どもたちへの育成を目指す資質・能力として定義し、それらを育む学習過程として、「見通し・行動・振り返り」のサイクルを示した。そのサイクルを回していく原動力として、「自ら考え、主体的に行動する資質・能力」といった意味の「エージェンシー」を位置づけた。

「非認知能力」とは

知能検査や学力テストなどで測定される、数値で表せる能力を「認知能力」と言うのに対し、自制心や誠実性、好奇心や協調性、やり抜く力などの情緒や社会性に関する数値で表しにくい能力を「非認知能力」という。非認知能力はOECDが個人の幸福(ウェルビーイング)と社会の発展を牽引する技能として、その重要性を提唱する「社会情動的スキル」とほぼ同義と考えられる。

否認値能力は、よりよい人生を送るために必要な資質・能力として注目されている。

引用文献:VIEWnext 2024 8月号 (Benesse)
特集『なぜ育む? 「見えない力」』

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

学習指導要領において、新しい時代に必要となる3つの資質・能力

【鳴高トピックス】 ※詳しくはHPで♪ back number

☑異文化交流会 学科1~3年生 (R6.12.5 水)

留学生6名をお招きし、学科縦割り3グループのローテーションで各国の文化や言語についてお話をいただきました。学科生徒が司会進行を務め、質疑応答では大いに盛り上がりしました。

☑修学旅行平和学習 普通科2年生 (R6.12.5 水)

武庫川女子大学のメディアホールをお借りして、映画「島守の塔」を鑑賞する等、沖縄・石垣島修学旅行の事前学習を実施しました。

☑普通科沖縄・石垣島修学旅行 普通科2年生 (R6.12.10 火~12.13 金)

学科英国研修旅行 学科2年生 (R6.12.10 火~12.17 火)

両行程とも、全日程を無事終了しました。

☑ひょうご起業ゼミ 1年生全員

(R6.12.9月・12木・16月) 2h×3日
兵庫県の「若年層向けアントレプレナーシップ教育プログラム導入事業」として実施しました。

<質問コーナー>

【Q】なぜ「自己調整学習」という学びが重要になってくるのですか???

【A】それは、「自己調整学習」が「主体的な学び」の実現を図るうえでの鍵となってくるからです。みなさんが今、学んでいる学習指導要領において、教育の目標として整理された資質・能力の3つの柱の1つに、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等の涵養」があります。また、OECDが策定した、よりよい社会を実現するために求められ学びの中心的概念として、「エージェンシー」が位置づけられています。そして「非認知能力」と合せたこれらの「見えない力」は、これからの時代を担っていくみなさんにとって必要になってくるチカラです!

次の2点について、あなたはどのようにでしょうか?

☐知識・技能の習得=ペーパーテストの成績、つまり「認知能力」だけに関心が向いている。

☐鳴尾高校での学び=偏差値を上げるため、つまり大学受験のためだと思っている。

☑が付いたあなたにオススメ!! Vol.3では、「自己調整学習」について考えていきます。

— 1年の計は元旦にあり —

一年のことは年の初めの元旦に計画を立てて行うべきである、物事は初めが大事、しかもしっかりとした計画の元に確実にこなすということ。

(引用:コトバンク)

謹賀新年 令和7年も良い年にしていきましょう!